



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 日水製薬株式会社

コード番号 4550

URL https://www.nissui-pharm.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 小野 徳哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 谷津 精一 (TEL) 03-5846-5611

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,318	0.9	770	△18.0	804	△18.8	493	6.5
2019年3月期第3四半期	9,234	1.0	940	△5.2	990	△7.9	463	△46.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 520百万円(30.1%) 2019年3月期第3四半期 399百万円(△57.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	22.05	-
2019年3月期第3四半期	20.70	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	35,232	32,401	92.0
2019年3月期	35,901	32,827	91.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 32,401百万円 2019年3月期 32,827百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2020年3月期	-	20.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	6.0	1,330	1.3	1,420	2.5	1,014	29.2	45.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	22,547,140株	2019年3月期	22,547,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	152,602株	2019年3月期	152,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	22,394,648株	2019年3月期3Q	22,394,907株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

体外診断用医薬品の国内市場は、高齢化によりここ数年微増で推移しておりますが、政府による医療費抑制策の基調は変わらず、厳しい環境が続いております。再生医療分野では、2018年度以降、複数の再生医療等製品の製造販売について薬事承認されており、また産官学ともに新技術開発がめざましく量産プラントの建設等、再生医療等製品の供給拡大に向けた動きが活発になっております。

当社グループでは、経営方針として「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。この経営方針の実現に向けて、2019年度を起点とする2ヵ年の中期経営計画を新たに策定しました。「利益ある成長」「新たな企業イメージ醸成」「ステークホルダーへの還元」を重要課題として、事業の拡大、原価低減等のコスト削減、異業種テクノロジーの活用を推進しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ84百万円(0.9%)増加し93億18百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同期に比べ1億69百万円(18.0%)減少し7億70百万円、経常利益は前年同期に比べ1億85百万円(18.8%)減少し8億4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ30百万円(6.5%)増加し4億93百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメント別の状況は、概ね次のとおりです。

#### <診断薬事業>

売上高は前年同期に比べ28百万円(0.4%)増加し75億67百万円、営業利益は前年同期に比べ2億16百万円(15.6%)減少し11億78百万円となりました。

当事業の国内販売は、価格競争激化の中、基幹病院や検査センターへの検査機器および製薬企業や食品企業への品質検査試薬の営業活動に注力しました。基幹病院や検査センター向けの検査では、結核菌などの抗酸菌検査のための自動遺伝子検査装置「TRCReady®-80」専用試薬(※東ソー株式会社)の売上が、測定用検査機器の納入台数増加により前年同期に比べ約2割増加しました。製薬企業や食品企業向けの検査では、昨年度6月よりバイオメリュー・ジャパン株式会社から導入した微生物迅速検査製品群が売上に貢献しました。

海外販売は、新規代理店の獲得に注力するとともに、引き続き海外子会社のNissui Pharma Solutionを軸に、「Mycro Finder®」の販売等、再生医療分野における海外展開を積極的に推進してまいります。

#### <医薬事業>

売上高は前年同期に比べ55百万円(3.3%)増加し17億50百万円、営業利益は前年同期に比べ65百万円(35.0%)増加し2億53百万円となりました。

当事業は、連結子会社の日水製薬医薬品販売株式会社において、健康未来創造研究会へ主力商品である「コンクレバン®」、「日水清心丸」、「シーアルパ®シリーズ」の拡売・新規会員店の獲得、その他の販路では機能性表示食品の拡売に注力しました。

なお、2020年4月1日を効力発生日として、当社の肝臓加水分解物事業を日水製薬医薬品販売株式会社に承継した上で日水製薬医薬品販売株式会社の当社保有株式全てをゼリア新薬工業株式会社へ譲渡することといたしました。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (重要な後発事象)」に記載の通りであります。

(注) 上記の営業利益は、各事業に配賦できない支援部門に係る費用等6億61百万円が控除されております。

<研究開発活動等>

2018年度に引き続き、新たなビジネス創出の機会として、将来有望と考えられる研究プロジェクトや独創的かつ萌芽的なアイデアなどを早期に発掘し、共同研究また実用化に通じる創成を目指す日水製薬オープンイノベーションプログラム「NeyeS」(エヌアイズ)の2019年度公募を行いました。多くの研究機関からの応募に対して、当社研究課題とのマッチング、研究内容の独創性や有用性、研究計画の実現性等を審議し、3件を採択しました。「NeyeS」の活動を通じて、再生医療関連技術、細胞培養関連シーズおよび検査・検出技術などをテーマとして、基礎研究から臨床研究および検査・情報処理まで斬新でユニークなアイデアやノウハウ、将来的な医療に役立つシーズを探索し、支援してまいります。

新たな成長分野への積極的投資の一環として、再生医療技術を使用した研究用血球を作製しマラリアやデング熱などの熱帯地域の感染症の制御を目指しているマイキャン・テクノロジーズ株式会社の第三者割当増資を受け、21百万円を出資しました。当社が長年の研究開発で培ってきた、再生医療用組織培地に関する技術、検査薬・体外診断用医薬品に関する技術、および再生医療用培地の製造工場などを活用し、再生医療技術を応用した研究開発への取り組みを加速するとともに、マイキャン・テクノロジーズ株式会社と協力し、感染制御の推進に貢献してまいります。

また、市場競争力を高め事業を拡大するうえで、より一層の品質の向上と生産体制を構築させ、お客様のニーズに合わせた高品質な製品を提供するために、法令基準及びISO等の第三者認証基準に対応した新工場の建設を目的として、茨城県五霞町に新たに工場建設用地を取得しました。今後「新工場建設プロジェクト」において基本構想、設計計画を策定し、建設を行ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億68百万円(1.9%)減少し352億32百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金2億87百万円、商品及び製品2億24百万円の減少によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億42百万円(7.9%)減少し28億31百万円となりました。主な増加は流動負債のその他1億41百万円によるもので、主な減少は未払法人税等1億83百万円、賞与引当金1億44百万円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億26百万円(1.3%)減少し324億1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は92.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、現時点では2019年10月17日に公表した業績予想から変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,401	3,114
受取手形及び売掛金	3,403	3,115
有価証券	500	429
商品及び製品	1,799	1,574
仕掛品	341	267
原材料及び貯蔵品	871	1,010
関係会社預け金	19,983	18,474
その他	140	225
貸倒引当金	△35	△27
流動資産合計	29,406	28,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444	1,382
機械装置及び運搬具(純額)	374	412
土地	1,752	2,985
リース資産(純額)	34	20
建設仮勘定	78	61
その他(純額)	162	154
有形固定資産合計	3,848	5,016
無形固定資産		
ソフトウェア	72	72
リース資産	28	17
ソフトウェア仮勘定	1	—
その他	6	6
無形固定資産合計	109	96
投資その他の資産		
投資有価証券	2,203	1,638
繰延税金資産	49	—
その他	315	328
貸倒引当金	△31	△32
投資その他の資産合計	2,537	1,933
固定資産合計	6,494	7,046
資産合計	35,901	35,232

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,529	1,543
リース債務	37	37
未払法人税等	198	15
未払消費税等	77	54
賞与引当金	193	49
役員賞与引当金	16	10
歩戻引当金	10	9
その他	417	558
流動負債合計	2,481	2,279
固定負債		
退職給付に係る負債	2	2
リース債務	30	2
繰延税金負債	178	168
長期預り保証金	372	372
その他	7	5
固定負債合計	592	551
負債合計	3,073	2,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	22,960	22,507
自己株式	△100	△100
株主資本合計	32,688	32,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	165
その他の包括利益累計額合計	139	165
純資産合計	32,827	32,401
負債純資産合計	35,901	35,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,234	9,318
売上原価	4,974	5,169
売上総利益	4,259	4,149
販売費及び一般管理費	3,319	3,378
営業利益	940	770
営業外収益		
受取利息	31	51
受取配当金	13	14
その他	23	27
営業外収益合計	68	93
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	—	58
デリバティブ評価損	14	0
為替差損	1	0
その他	2	0
営業外費用合計	17	59
経常利益	990	804
特別利益		
持分変動利益	—	11
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	16
特別損失		
固定資産処分損	0	6
投資有価証券評価損	0	128
特別損失合計	1	134
税金等調整前四半期純利益	988	686
法人税、住民税及び事業税	244	164
法人税等調整額	280	27
法人税等合計	525	192
四半期純利益	463	493
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	463	493



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	463	493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	26
その他の包括利益合計	△63	26
四半期包括利益	399	520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399	520
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

① 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

セルジェンテック株式会社は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,539	1,695	9,234
セグメント利益	1,395	188	1,583

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,583
全社費用(注)	△643
四半期連結損益計算書の営業利益	940

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,567	1,750	9,318
セグメント利益	1,178	253	1,432

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,432
全社費用(注)	△661
四半期連結損益計算書の営業利益	770

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

(重要な後発事象)

(会社分割及び承継会社の株式譲渡)

当社は、2020年1月17日開催の取締役会において、2020年4月1日を効力発生日(予定)として、当社の診断薬事業の一部である肝臓加水分解物事業を当社の連結子会社である日水製薬医薬品販売株式会社(以下、「医薬品販売会社」という。)へ会社分割(吸収分割)の方法により承継(以下、「本吸収分割」という。)した上で、医薬品販売会社の当社保有株式全てをゼリア新薬工業株式会社(以下、「ゼリア新薬」という。)に譲渡することを決議し、同日吸収分割契約及び株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 会社分割及び株式譲渡の目的

当社は、利益ある成長を目指すとともにポートフォリオの見直しを進めており、主力事業である診断薬事業の更なる成長に向けて投資を強化していく方針を掲げております。今後の医薬品販売会社及び肝臓加水分解物事業の成長戦略を検討する過程において、ゼリア新薬の傘下で事業運営にあたるのが、医薬品販売会社の一層の成長・発展に資するとの判断に至り、当社の肝臓加水分解物事業を医薬品販売会社に承継した上で医薬品販売会社の当社保有株式全てをゼリア新薬へ譲渡することといたしました。

2. 日水製薬医薬品販売株式会社による吸収分割

(1) 会社分割の要旨

①会社分割の日程

取締役会決議日	2020年1月17日
吸収分割契約締結日	2020年1月17日
本吸収分割の効力発生日	2020年4月1日(予定)

(注)本吸収分割は、会社法784条第2項の要件を満たすため、同項にもとづき簡易分割により、当社株主総会の決議による承認を得ずに行います。医薬品販売会社については会社法796条第1項の要件を満たすことから、同項にもとづき略式分割により医薬品販売会社の株主総会の決議による承認を得ずに行います。

②分割の方式

当社を吸収分割会社とし、医薬品販売会社を吸収分割承継会社とする吸収分割方式であります。

③分割に係る割当の内容

本吸収分割による医薬品販売会社から当社への株式の交付はありません。

④分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

⑤分割により増減する資本金

本吸収分割による資本金の増減はありません。

⑥承継会社が承継する権利義務

医薬品販売会社は、本吸収分割に際して、本吸収分割の効力発生日における当社の肝臓加水分解物事業に関して有する資産及び権利・義務を吸収分割契約書に定める範囲において承継します。

⑦債務履行の見込み

吸収分割会社である当社および吸収分割承継会社である医薬品販売会社は効力発生日以降に到来する債務の履行の見込みについて問題がないものと判断しています。

(2) 会社分割当事会社の概要

	分割会社 (2019年3月31日現在)	承継会社 (2019年3月31日現在)
①名称	日水製薬株式会社	日水製薬医薬品販売株式会社
②本店所在地	東京都台東区上野三丁目24番6号	東京都台東区上野一丁目18番11号 西楽堂ビル7階
③事業内容	医療機関・研究機関向け培地・診断試薬類の製造、販売ならびに輸出入 産業関連施設向け培地・産業試薬類の製造、販売ならびに輸出入	薬局・薬店向け医薬品、健康食品の製造、販売ならびに輸出入
④資本金	4,449百万円	50百万円
⑤設立年月日	1935年4月6日	2016年6月9日
⑥従業員数	254名	62名
⑦直前事業年度の 経営成績	2019年3月期	2019年3月期
資産	35,352百万円	3,782百万円
負債	2,518百万円	645百万円
純資産	32,834百万円	3,136百万円
売上高	10,091百万円	2,608百万円

(3) 分割する事業部門概要

分割する事業部門の内容、規模

肝臓加水分解物の製造及び販売（ただし、当社の久喜工場（埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼13番地）にて製造する小規模の当該事業に関する製品の製造及び販売に関するものは除く）

	2019年3月期
売上高	203百万円

3. 承継会社株式の譲渡

(1) 株式譲渡先の名称

ゼリア新薬工業株式会社

(2) 当該承継会社の名称

名称 : 日水製薬医薬品販売株式会社  
 事業内容 : 薬局・薬店向け医薬品、健康食品の製造、販売ならびに輸出入  
 当社との取引内容 : 製商品の売買等

(3) 譲渡株式数、譲渡価格及び譲渡前後の所有株式の状況

譲渡前の所有株式数 : 5,000株（議決権の数：5,000個）（議決権所有割合：100%）  
 譲渡株式数 : 5,000株（議決権の数：5,000個）  
 譲渡価額 : 3,300百万円  
 譲渡株式後の所有株式数 : 0株（議決権の数：0個）（議決権所有割合：0%）

(4) 株式譲渡日程

取締役会決議日 : 2020年1月17日  
 株式譲渡契約締結日 : 2020年1月17日  
 株式譲渡実行日 : 2020年4月1日（予定）